

昼間の空に金星をさがそう！

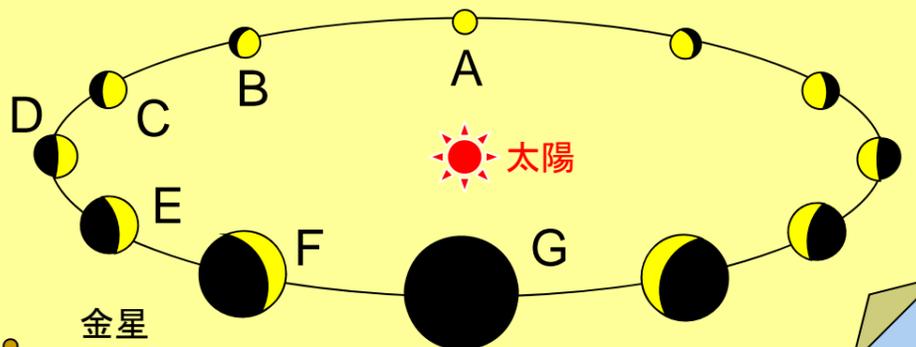
宵の明星、明けの明星として知られる惑星・金星。地球よりも内側を公転しているため、夕方か明け方の空にしか見ることができないとよく言われます。ところが金星は、明星の名が示すように太陽、月に次いで明るく見える天体で、明るいときは昼間に見ることがあるのです。そのチャンスが4月の下旬から5月上旬にめぐってきます。ぜひこれを機会に昼間の金星さがしにチャレンジしてみてくださいはいかがでしょう？

金星が最大光度に！

4月30日(月)、金星が最大光度となります。最大光度とは、金星がもっとも明るくなる時のこと。このときの金星の明るさは-4.7等星となります。星の明るさを表す「等級」は、5等差で100倍明るさが異なりますので、最大光度のときの金星は1等星の100倍明るいということになります。昼間の空に金星を見つけるには、この最大光度のときがチャンスです。

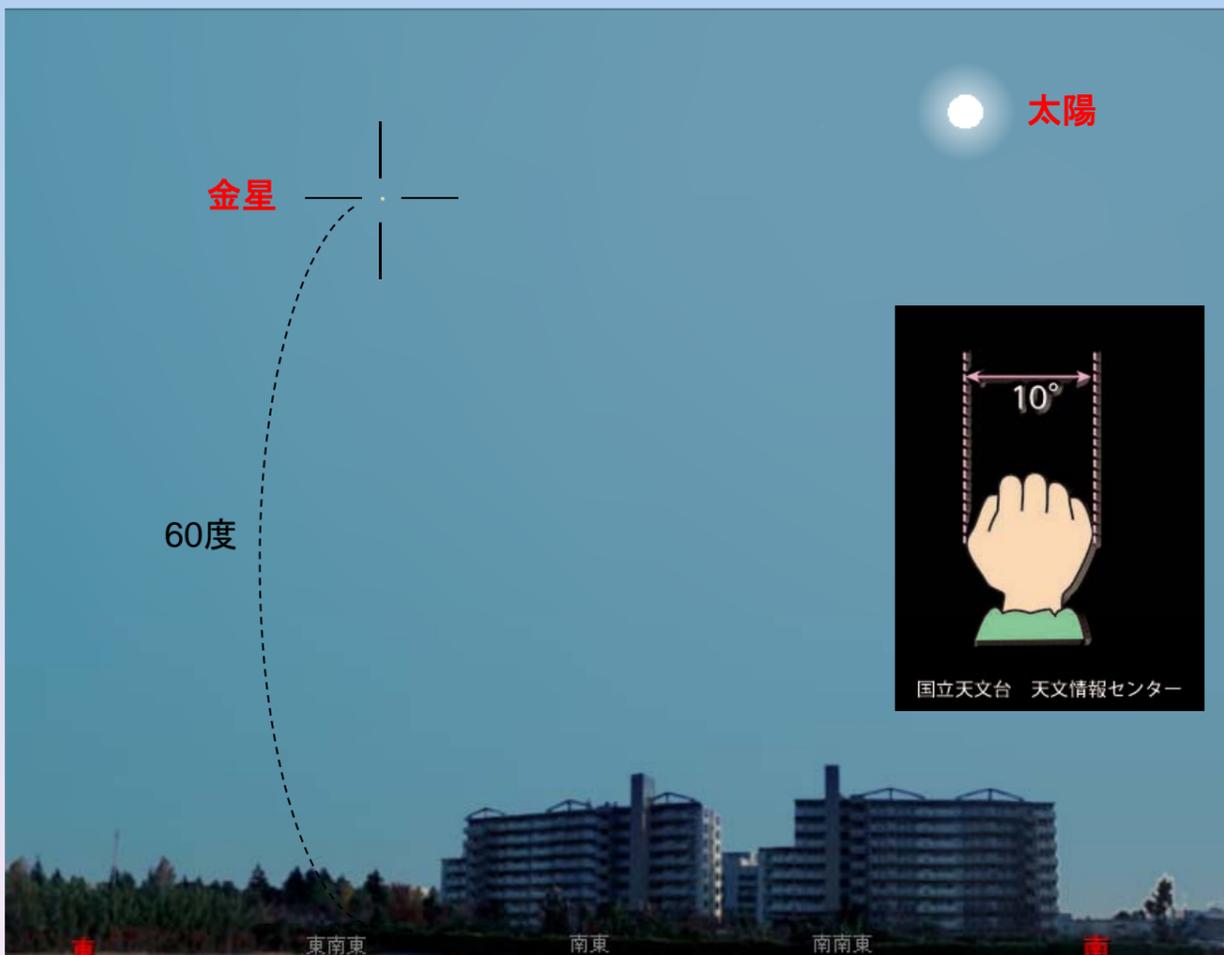
最大光度はどんなとき？

地球にいちばん近いときが最大光度になりそうな気がしますが、金星は満ち欠けをするため、そう簡単にはいきません。下の図のうち、最大光度となるのはどこでしょうか？ 考えてみてください。（正解はポスターの左下）



さがしてみよう！

青空の中に金星を見つけるのはかなり大変なことです。すっきりと晴れた日を選びましょう。4月30日の12時、金星はほぼ東南東、高さはおおよそ60度です（にぎりこぶし6個分・左図）。コンパスや腕を頼りにさがしてみてください。どうしても見つからない場合は双眼鏡をつかってみましょう。ただし太陽を見てしまわないよう十分に気をつけてください。



2012年4月30日12時の東～南の空のようす (AstroArts社製 ステラナビゲーター9で作成)